

新型コロナウイルス感染症対策に配慮した 避難所開設・運営訓練ガイドライン（概要）

「新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所開設・運営訓練」を実施し、災害時に安心して避難できる環境を整えておきましょう。

本ガイドラインを参考に、各自主防災会等の実情に応じて訓練を実施していただきますようお願いいたします。

なお、ここに挙げた実践例は、あくまで一例です。さらに進んだ実践項目などについては、4ページの参考資料を参照してください。

避難者受入訓練

□密にならない受入手順を確認し、避難所入口や受付を設置する。

〈実践例〉

- ・密にならないような目印・案内等の設置場所や受付手順を確認する。
- ・設置した受付へ避難者を誘導する。

□避難者カードを記入し、避難者名簿の作成、参加者の体温・体調や感染症対策を確認する。

〈実践例〉

- ・受付時に発熱、咳などの症状の有無等参加者の体温・体調確認を行う。
- ・施設入場時に拡声器等を活用し、避難所における注意点や発熱、咳などの症状がある人は申し出るよう参加者へ呼びかける。
- ・発災時の非常持ち出し品（マスク、消毒液、ウェットティッシュ、体温計等）の持参を呼びかける。（訓練お知らせ時、訓練終了時など）

避難所割振訓練

□一般の避難スペース、専用スペース等を確認する。

※専用スペース：発熱や咳等の症状がある方や濃厚接触者を受け入れるスペース

〈実践例〉

- ・共同空間を設定・確認し、密にならないよう生活ルールの策定等工夫する。
※共同空間：受付、掲示板、物資保管場所、手洗い場、トイレ、更衣室（男女別）、洗濯場・物干し場、ゴミ置き場（箱）等
- ・養生テープなどを用いて、通路を確保しながら、避難スペースの範囲を明示する。
- ・通路は、一方通行とするなど、できる限り通行者がすれ違わないよう確保する。
- ・共同空間や、避難スペースをゾーニングし、確認する。
- ・パーティションと簡易ベッド（ダンボールベッド等）を設置する。
- ・避難者が自ら移動できるよう、案内看板等を用意する。
- ・どこにどの避難者、特に要配慮者がいるのか等について確認し、見取図や一覧図を作成する。

保健・衛生・救護訓練

□定期的な巡回、避難者の毎日の体温・体調を確認する。

〈実践例〉

・避難所の巡回体制や確認方法を確認する。

□濃厚接触者等が来所した場合や避難者の中から症状のある者が発生した場合の対応及び専用スペースへの受け入れ方法等を確認する。

〈実践例〉

・訓練参加者の中に発熱者や濃厚接触者役を設定し、専用スペースに誘導する。

・専用スペースの避難者の見守り、食事、物資の供給方法等の検討を行う。

・体調急変時や感染が疑われる場合の連絡・相談手順を確認する。

避難所開設訓練

□避難所運営スタッフの装備品(マスク、ゴム手袋等)の着脱手順を確認する。

〈実践例〉

① 手指の消毒、マスクを着用する。

② 手袋を装着する。手袋をした手で顔を触らないように注意する。

③ 片方の手袋を脱ぎ、手袋の内側部分でもう片方の手袋を脱ぐ。

④ 手指の消毒を行い、マスクのゴム部分を持ってマスクを外す。

⑤ 感染性廃棄物入れに距離を保って捨てる。

□避難所運営スタッフの健康管理

〈実践例〉

・避難所運営スタッフ全員の体温や体調の確認を毎日行う。

情報受発信訓練

□感染症の防止に関する情報の共有及び感染症対策を確認する。

〈実践例〉

・掲示物をできるだけ複数箇所の見やすい位置に貼り出し、情報の共有及び感染症対策を徹底する。

・参加者へマスク着用・せきエチケット、手指消毒の徹底を呼び掛ける。

・発災時の非常持ち出し品(マスク、消毒液、ウェットティッシュ、体温計等)の持参を呼びかける。

・発熱や咳等の症状がある人、濃厚接触者への偏見、嫌悪、差別などが生じないよう避難者どうし配慮した行動をとるよう促す。

物資受入・配付訓練

□避難所の備蓄物資の現状及び配布方法を確認する。

〈実践例〉

- ・備蓄物資の数量、保管状況を確認する。
- ・救援物資の受入れから保管場所、配布場所までの搬送・保管手順の確認を行う。
- ・養生テープで印をつけるなど一定の距離を保ちながら物資を配布できるような方法を確認・検証する。

食料配付・炊き出し訓練

□配食方法を検討・確認する。

〈実践例〉

- ・食料を個別配布するか取りに来てもらうか検討・確認する。

□炊き出し時の感染防止対策を確認する。

〈実践例〉

- ・調理スタッフの装備品、調理器具の消毒、使い捨て容器の利用
- ・順番制にするなど配食時の密を避けた配食手順を検討・確認する。
- ・一人分ずつ小分けにして配食する。
- ・食べ残しや使い捨て容器の回収手順を確認する。
- ・発熱者、濃厚接触者の容器については、一般の廃棄物と分けて取り扱う。

施設環境整備訓練

□避難所の定期的な換気及び共用箇所を消毒する。

〈実践例〉

- ・避難所の定期的な換気を行う。
- ・重点的に消毒するところ(ドアノブ・手すり、蛇口等の共有部分など)を設定し、消毒する。
- ・廃棄物保管場所の検討を行う。

生活ルール策定訓練

□新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所での生活ルールの策定・周知を行う。

〈実践例〉

- ・避難所での生活ルールや役割分担等の策定・周知を行う。
- ・避難所内の状況の変化や、新しい知見、情報を取り入れ、常に更新を検討する。

車両避難者への対応訓練

(大規模な駐車場を有するなど、あらかじめ車での避難を想定、周知している場合のみ)

□車両避難者の受付方法や駐車位置を検討する。

〈実践例〉

- ・避難所への入居者とは受付を分けるなど受付方法を検討し、設置する。
- ・車と車の間のスペースを十分にとるよう案内する。

【参考資料】

- ・新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所開設・運営訓練ガイドライン
(令和2年6月8日付 内閣府(防災)・消防庁・厚生労働省連名通知)
- ・避難所運営マニュアル
(新型コロナウイルス等の感染症対策編 令和2年6月1日暫定版 新潟市)
- ・新潟市地域活動ガイドライン(令和2年6月1日付 新潟市)
- ・新潟市チラシ「考えてみよう『命を守る避難行動』」(令和2年7月作成)